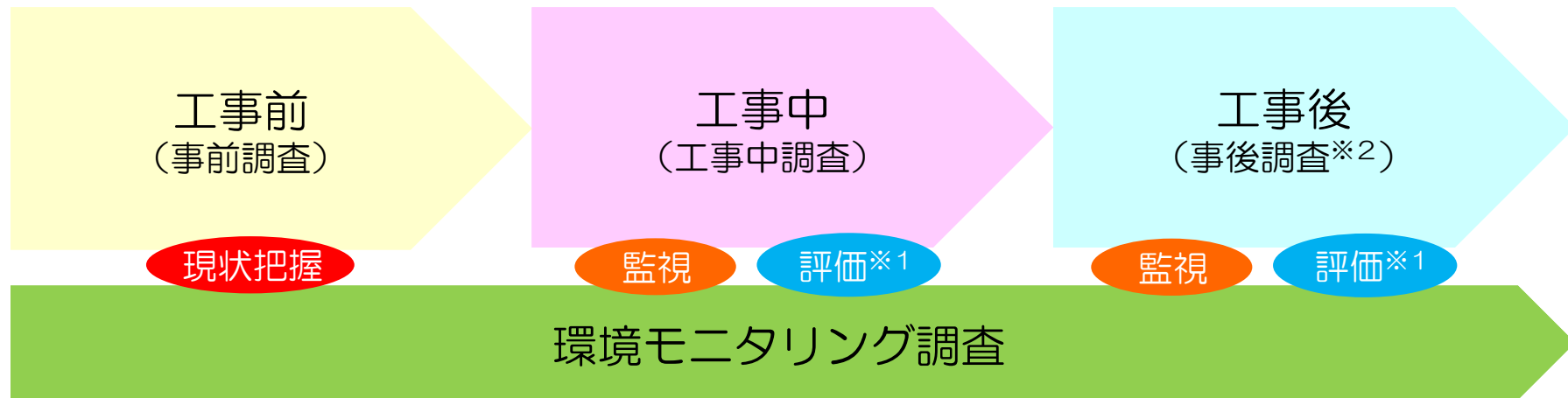


1. 環境モニタリング調査計画の基本事項

■ 1-1 調査目的



環境モニタリング調査は、吉野川渡河部の自然環境を保全するため、工事実施段階(工事前・工事中・工事後)における、現状把握・環境監視・評価の実施を目的とする。なお、必要に応じて環境保全対策を検討する。



※1：評価の後、必要に応じて対策の検討を行う。

※2：事後調査は、橋脚完成後2年間、橋桁完成後2年間を実施する。

■ 1-2 調査項目と調査範囲の考え方



橋梁整備(橋梁の存在と工事施工)による環境への影響は、工事前後の調査結果を単純に比較するだけでなく、自然変動も踏まえて適正に評価する必要がある。
 これらを踏まえ、各調査項目と調査範囲の考え方を以下に示す。

調査項目	橋梁整備による直接的な影響 を把握するための調査範囲	自然変動による影響 を把握するための調査範囲
① 騒音・振動調査	シギ・チドリ類のねぐら付近 周辺家屋	—
② 水質調査	工事施工で設置する 汚濁拡散防止膜の周辺	左記の位置から離れた地点
③ 地形調査	橋脚設置により、 地形変動が生じると予測される範囲※1	左記の領域に隣接する範囲
④ 底生生物・底質調査		
⑤ 鳥類調査	橋梁整備により、 鳥類の行動・個体数等の変化が 観測される範囲	日本全体※2
⑥ 魚類調査	計画路線上の周辺	—



※1：吉野川距離標0.0kから上下流に400mの範囲
 ※2：日本全体と徳島県（吉野川河口）に出現するシギ・チドリ類の変動傾向を環境省等のデータから把握する

■ 1-3 調査区分



環境モニタリング調査の調査区分を以下に示す。

事前調査	○工事前の環境を把握するための調査 事前調査の結果は、工事前の現況把握のほか、工事中調査計画をブラッシュアップするための基礎資料とする。
------	---

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
実施スケジュール	橋梁設計		下部工施工(非出水期)
環境モニタリング調査	調査計画の策定	事前調査	工事中調査



※工事中調査計画のブラッシュアップ

⇒平成27年2月と9月に予定している環境部会において、事前調査結果を踏まえ、工事中調査計画のブラッシュアップを行っていく。

工事中調査	○工事中の環境を監視するための調査
-------	-------------------

事後調査	○工事後の環境を監視するための調査
------	-------------------

■ 1-4 施工段階



環境モニタリング調査の調査区分と施工段階を以下に示す。

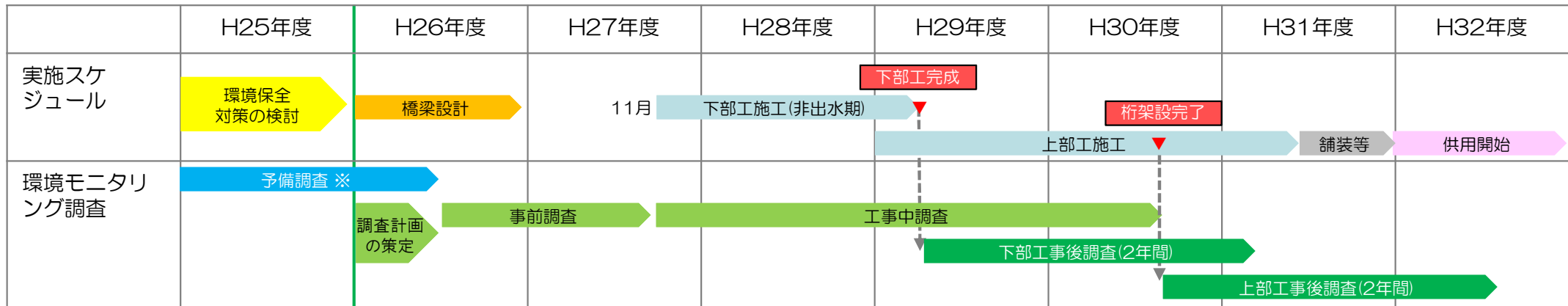
■ 下部工施工

調査区分	施工段階
事前調査	工事着手前
工事中調査	下部工施工期間 (非出水期)
	下部工施工休止期間 (出水期)
事後調査	下部工施工完了後(2年間)

■ 上部工施工

調査区分	施工段階
事前調査	工事着手前
工事中調査	桁架設施工期間
事後調査	桁架設完了後(2年間)

■ 調査スケジュール



※予備調査 (NEXCO西日本による独自調査)

- ・鳥類調査：平成25年5月, 11月, 平成26年1月, 3月, 4月, 5月
- ・底生生物調査：平成25年6月
- ・貝類調査(ツノ川ガ1)：平成26年1月
- ・流向、流速観測：平成25年5月, 6月

